



● 昭和15年頃の為三

明治26年、森吉町米内沢（旧米内沢村）に生まれる。大正2年、秋田県師範学校卒業後、1年間小学校教師。同3年、東京音楽学校入学。在学中、在野の山田耕筈に作曲を師事。大正4、5年頃「浜辺の歌」を作曲。同6年同校卒業。同年、佐賀県師範学校に赴任。翌年同校辞任、東京赤坂小学校に赴任。大正8年『赤い鳥』に「かなりや」を発表、一躍有名になる。以後、『赤い鳥』の専属作曲家となる。

● 秋田県師範学校時代（明治42年）



● 毛馬内尋常高等
学校訓導時代
（左から2人目
大正2年）

大正10年ドイツ留学、ロバート・カーン教授に師事。同14年帰国。同15年、鈴木文子と結婚。昭和3年、川村女学院講師。同8年、東洋音楽学校講師。同15年、国立音楽学校教授。同20年、脳溢血のため51歳で急逝。



● 新婚当時
（女子夫人と
嵐山にて。
大正15年）



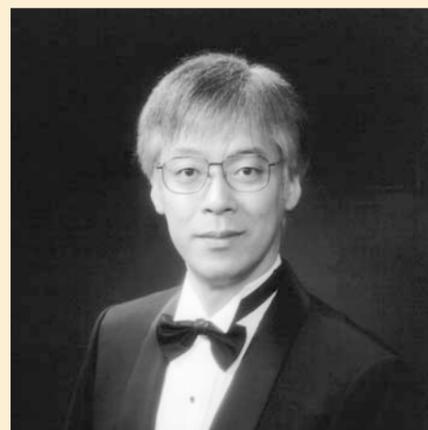
▲ 為三の業績を顕彰する浜辺の歌音楽館



後藤惣一郎氏の略歴

昭和56年米内沢小学校長退職後、県教委学校指導員、国立音楽大学講師、浜辺の歌音楽館終身名誉館長、平成12年国の地域文化功労受章、全国作曲コンクール第1位入選の「から松」（北原白秋詩）は中学校音楽教科書に採用され、多くの合唱曲集にとり入れられています。昨年は「から松」の音楽碑がJR鷹巣駅前広場に建立されました。鷹巣地区あけぼの町在住。

為三研究の第一人者である後藤惣一郎氏の所感
音楽史上、貴重な資料
〜器楽曲の開拓者として裏づけ〜
対位法、和声法等、楽理によるわが国の本格的な器楽曲の作曲家でもある成田為三先生の三百曲を越す作品中、これまで収集できなかった「秋一月を仰ぎ（四季のうち）」と「Rondo」の譜面と、心をこめたいすばらしい演奏録が入手できたことよって、歌曲のみならず、器楽曲の開拓者としての実績の裏づけにもなると思います。



菊池大成氏

菊池氏は、平成5年浜辺の歌音楽館で行われた「広がる成田為三の世界」と題するコンサートの中で、盛岡在住のピアニスト雫石（現在・池野）環さんとともに為三の全ピアノ作品を演奏されました。ともすれば童謡作曲家と思われがちな為三の、それとは全くタイプの異なるピアノ作品の業績に深く心を打たれ、演奏活動のかたわら現在に至るまで調査研究を続けています。国立音楽大学附属中・音楽高校ピアノ講師



▲ 発見者と共演した為三口ポット

コンサートは、男性の最高音で主にソロとして演奏されることが多いテノールが二人とピアノという珍しい編成で、日伊声楽コンコロソに入賞されている渡辺直人氏、小澤征爾オペラプロジェクトに出演されていた鳴海優一氏、そして、菊池氏による演奏で、風格の漂う迫力ある独特な歌声とピアノ演奏が為三口ポットのある館内一杯に響き渡りました。発見された2曲はコンサートの中盤に披露され、「秋一月を仰ぎ（四季のうち）」は神秘的で現代的な調べ、「Rondo」は、対照的な作品でテンポのある古典的な曲調となっています。制作年は、現段階では残念ながら特定することはできませんが「秋一月を仰ぎ（四季のうち）」は、71年前の昭和9年、為三が41歳

を迎える年度分として刊行されている「日本作曲年鑑 昭和9年度版」に、また「Rondo」は「同年鑑昭和16年度版」に掲載されていることから、それ以前であることに間違いありません。為三研究の第一人者で知られる後藤惣一郎氏（鷹巣地区あけぼの町）は「作品の存在自体は知っていましたが、楽譜に触れたことはありません。大変貴重な資料です。県内ではじめての演奏でしょう」と新たな資料の存在に喜んでおられました。この日の演奏会には、3月に改修され、身支度を整えた為三が、この2曲を掘り起こしたピアニストの菊池氏とともに音楽館の初演ステージに立ち、ほんの少しの緊張と甦る調べにうれしさを表していたようです。6ページに続く

コンサート来場者から
感想をお寄せいただきました。

為三作品の奥深さに驚かされました。声楽とピアノ指導に携わっていますが、私も演奏をとおし、顕彰できればと思います。多くの方が作品に触れること、また、演奏されることで音楽の素晴らしさ一面を体感できると思います。



三澤由美子さん
鷹巣地区
松葉町

為三先生の義妹、杉浦俊子さんよりご寄付いただいた1千万円を元に改装した音楽館での初演、感動いたしました。翌日は、テレビで「二十四の瞳」が放映され、ラストシーンで浜辺の歌が流れました。杉浦さんと電話で涙して語り合いました。



金 与恵門さん
森吉地区
本丁

テノールの二人とピアノによる演奏、迫力でせまる歌声も、寄せる波の大きいこと。為三作曲の初めて聴くピアノ曲にもふれ、大きな幸せなひとときをいただきました。為三先生や浜辺の歌音楽館をもっと知ってほしいと思います。



御所野恵美子さん
森吉地区
新丁

「秋一月を仰ぎ（四季のうち）」が発表されたと思われる昭和9年の時代背景

《為三41歳を迎える年》

- ◆出来事
・阿仁合線鷹巣～米内沢間開通
・室戸台風・東北地方大凶作
・全国ラグビー大会で秋田工が初優勝
- ◆ヒット曲
・国境の町（東海林太郎）
- ◆この年に生まれた有名人
・石原裕次郎・坂上次郎

「Rondo」が発表されたと思われる昭和16年の時代背景

《為三48歳を迎える年》

- ◆出来事
・小学校を国民学校と改称、初等科6年、高等科2年を義務教育
・米の通帳配給制を実施
・真珠湾攻撃・太平洋戦争開始
- ◆ヒット曲
・船頭さん・たきび・うみ
- ◆この年に生まれた有名人
・渡哲也・徳光和夫